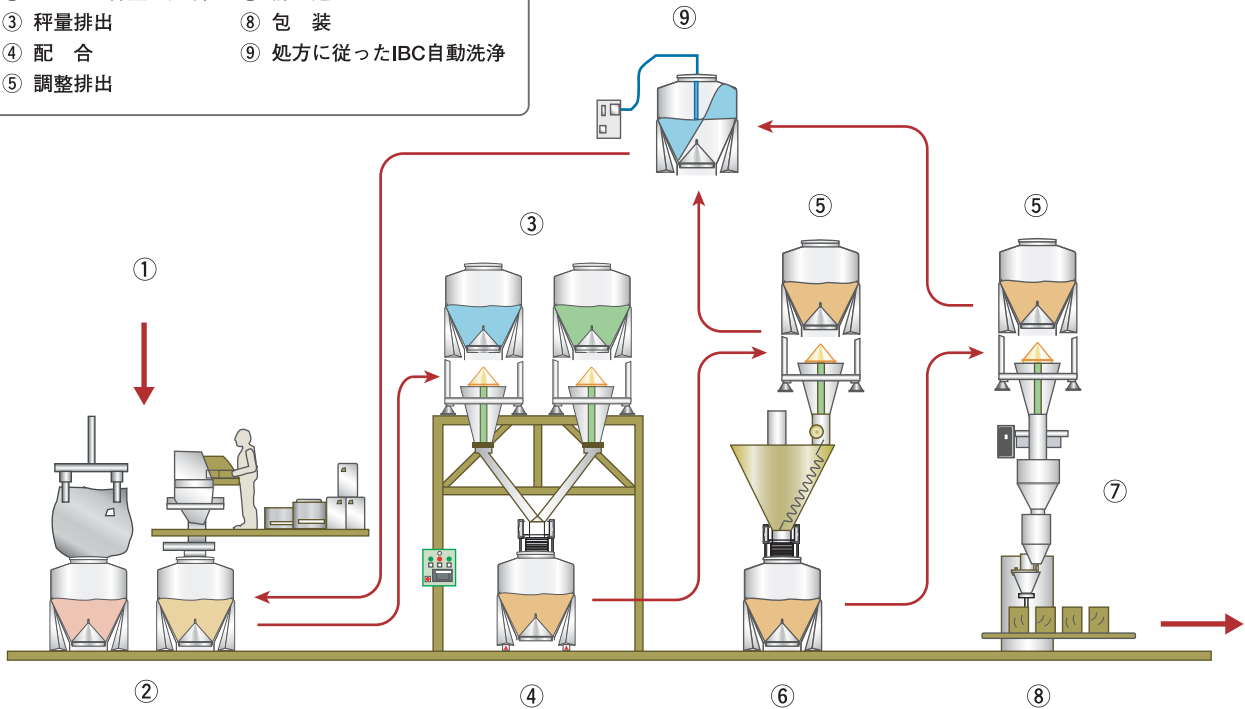


マトコンIBCシステム

- | | |
|--------------|-----------------|
| ① 原材料秤量・張込み | ⑥ 混合 |
| ② IBCへの秤量・充填 | ⑦ 篩過 |
| ③ 秤量排出 | ⑧ 包装 |
| ④ 配合 | ⑨ 処方に従ったIBC自動洗浄 |
| ⑤ 調整排出 | |



■ 対象粉粒体

食品ミックス、香料、香辛料、米、医薬品、ソフトカプセル、化成品、トナー、金属

■ 基盤技術

貯槽・排出／計量／混合／輸送／封じ込め／CIP／サニタリー

■ 概要

○ IBCへの秤量・充填①

原材料をあらかじめマトコン IBC に投入します。多品種を平行して作業できます。

原材料メーカーがマトコン IBC により出荷すれば、この作業はなくなります。ラインの準備が整えば、フォークリフトなどにより、マトコン IBC をラインにセットします。

○ 配合④

配合表に従い、各原材料を所定量だけ次のマトコン IBC に秤量排出します。

○ 混合⑥

ミキサーの要求に従い、必要量を排出します。マトコンブレンダーによりミキサーを省略する例もあります。

○ 包装⑧

所定の包材に包装します。包装機の能力にあわせて排出します。マトコン IBC をそのまま出荷すれば、包装は不要です。

■ 特長

○ マトコンバルブによる粉粒体の排出

マスフロー排出を実現します。閉塞、偏析などのトラブルはありません。また秤量排出機能を持たせることもできます。

○ IBC ブレンダーによる混合

IBC ブレンダーの導入により、マトコン IBC をそのまま混合機として使用できます。

○ クロスコンタミネーションの防止

多品種対応ラインの製品切替も、コンテナを交換することにより、短時間に処理できます。製造と平行してコンテナを洗浄でき、生産効率は大幅にアップします。マトコン IBC により、秤量機、混合機あるいは空気輸送配管などを省略でき、シンプル&フレキシビリティのある設備を実現します。

